

中国遼寧省派遣交流職員レポート②

皆さんこんにちは。

私は今、友好交流職員として中国遼寧省にある瀋陽市というところに来ています。滞在が終わる3月まで何回かに分けて、みなさんに遼寧省のこと、中国での生活や文化についてレポートしていきたいと思います。今回は2回目のレポートです。

○ 瀋陽市以外の町について（桓仁満族自治県）○

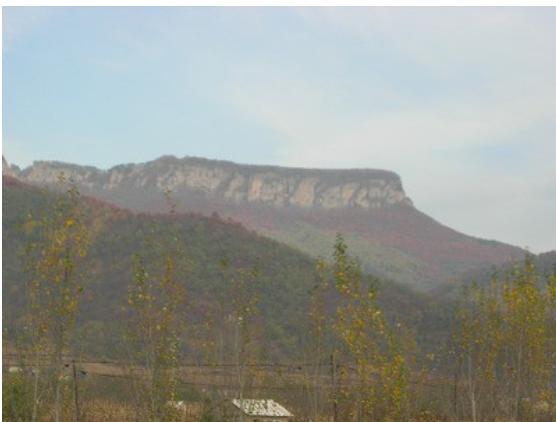
今回は、遼寧省の東の方にある、桓仁満族自治県についてレポートします。

桓仁満族自治県は遼寧省本溪市の東部にあり、瀋陽市からは90キロほど離れています。

「満族自治県」という名前ですが、満族以外にも漢族、朝鮮族など、計14の民族が暮らしています。



桓仁満族自治県の位置



世界遺産の五女山



登山道入口

世界遺産にも登録されている五女山です。切り立った崖のように聳える姿は、遠くから見ても堂々としています。

登ることもでき、1,000段のまっすぐの急な階段を上がると、見事な雲海と、晴れ間から周りの紅葉した美しい山々が見えてとても美しいです。

高句麗時代の居城跡や博物館もあり、歴史的な見地からも非常に興味深い場所です。



山頂からの風景

<朝鮮族の生徒が通う学校>

朝鮮族の生徒が通う学校です。

幼稚園から高校までの全寮制の学校で、中高生は選択授業で英語か日本語を選択するそうです。

ークラスは30人くらいで、熱心に先生が授業をしており、学校指定のジャージを着た生徒も、配られた日本語の文法のプリントと黒板を見ながら熱心に聞いています。先生は中国語で授業をし、時々話す日本語はかなり流暢です。

授業の雰囲気は日本の高校の授業と変わりません。

授業中積極的に質問をする生徒、突然当てられて慌てる生徒、お調子者の男子生徒、注意する女子生徒、「日本のお客さんに何か質問のある人」と聞かれて緊張する生徒たち。

生徒たちは非常に熱心で、素直で、はにかみ屋です。「なぜ、日本語を勉強しているの?」という質問には、みな声を合わせて「日本のアニメが好きだから」とのこと。



校舎と校庭



日本語授業の様子



廊下



教室の机

< 桓仁満族自治県の特産品：冰酒（氷のワイン） >

桓仁満族自治県の特産品の一つに冰酒（氷のワイン）があります。

桓仁満族自治県は緯度がフランスのボルドーやカナダのオンタリオ湖と同じということもあり、ブドウやワイン造りが盛んです。

中でも、カナダ、ドイツ、オーストリアで作られるアイスワインと同じ製法（ブドウを秋に収穫せず、凍って甘みが凝縮される冬に収穫し、それを原料として醸造する）で醸造する冰酒は国外にも輸出されていて、人気も高いそうです。



醸造所内の様子



冬まで収穫を待つブドウ



ワイン貯蔵庫

< 桓仁満族自治県の自然：楓林谷 >

桓仁満族自治県は自然が豊かで、世界遺産以外の五女山以外にも楓林谷というハイキングコースがあります。空気は非常に澄んでいて、紅葉も美しいです。



ハイキングコース入口



ハイキングコース風景

○ 瀋陽の冬支度○

瀋陽の冬は-20度に達します。

極寒の真冬を乗り切るべくやってきたのは、たくさんの日用品や服を安く売っている五愛市場です。

屋内にたくさんのお店が所狭しと並んでおり、お客さんと店員のやりとりでにぎわいを見せています。

日本にはないような防寒具が売っていたりするので、歩いているだけで楽しくなります。掘り出し物を見つけた後は、店員さんとの価格交渉が五愛市場の醍醐味。

帽子、ダウンジャケット、オーバーパンツなど、色々そろえることができました。

瀋陽を訪れる機会があったら、ぜひ立ち寄ってみてください。



五愛市場の様子①



五愛市場の様子②



帽子 50元



ダウンジャケット 250元



オーバーパンツ 60元

今回のレポートは以上です。次回のレポートをお楽しみに！！